

橋本 維文 議員
市民とともに



財政

三田市未来への財政ロードマップ(案)は決定事項か

議員 財政健全化の取組自体は否定しないが、市民生活に直接影響を及ぼす可能性のある内容を含んでおり、策定過程で関係団体や市民との調整がどこまで図られてきたのか疑問である。各項目に挙げられている内容は決定事項なのか。

丁寧に進めていく、決定事項ではない

市 各取組の推進にあたっては、市民をはじめ多様な関係団体や事業者、職員の理解と実践が不可欠である。丁寧に説明し、意見や提案を真摯に受け止め、信頼関係を築きながら進めていくべきものと考えている。また、実施が決定したものではない。(田村市長)

他の質問 地域活動の支援拡充について 他

山崎 丈 議員
市民とともに



公共交通

路線バス休止後の通学や移動手段は

議員 路線バスの休止により、通学、スーパーや駅までの交通手段が心配されている。休止後のスクールバスや地域内交通の維持確保をどのように進めるのか。

路線休止地域の特性に応じた対応を検討

市 通学には、市のスクールバスを運行している。路線休止等が発生する場合は、関係者や地域住民と対話し、それぞれの特性に応じた対応を検討する。公共交通維持のため、一人でも多くの利用が大事であり、イベントの開催や市政出前講座等の啓発活動実施など、持続可能な公共交通ネットワークの形成に向け取組を継続する。(田村市長)

他の質問 小中学校の教育環境について 他

坪之内 幸司 議員
創志会



有害鳥獣対策

有害鳥獣被害対策の位置付けと取組は

議員 有害鳥獣被害対策を耕作放棄地対策の柱の一つとして推進する考えはあるか。また、防除柵や捕獲活動等の国の制度を補完する市独自の取組について、条件緩和や補助率を上げるなど使いやすい制度に変えるべきでは。

耕作放棄防止対策として効果的な取組が必要

市 捕獲活動と防除対策による複合的な対策を実施しているが、地域計画において10年後に営農継続困難とされる農地が多い地域は、耕作放棄地対策として特に積極的に取り組む必要がある。また、防除柵設置補助等の市独自補助は、ニーズや費用対効果を検証し、条件緩和等、改善に向け検討を進める。

(辻下産業振興部長)

他の質問 特定外来生物対策について 他

関口 正人 議員
さんの未来



市政

市長の市政運営の振り返りと今後の方針は

議員 就任してからの2年間、病院の再編統合問題による整備時期の遅れに伴う整備費の高騰など、さまざまな課題もあった。そのような中で、この2年の市政運営をどう評価し、今後の市政運営方針をどのように考えているか。

子どもたちにとって誇れる三田を創り上げる

市 この2年間「市民本位のまちづくり」を進めるため、先送りされていた課題の解決に取り組んできた。今後も、移住定住施策の充実、シティセールスの強化、市内経済の活性化に資する観光施策に特に力を入れ、子どもたちにとって誇れる三田を創り上げていきたい。

(田村市長)

他の質問 三田市の県立高校再編への対応について 他

水元 サユミ 議員
日本共産党三田市議団



公的責任

公民連携においても全ての情報を出すべきでは

議員 公民連携先進都市を目指すことで市民が置き去りになるのではないかと。民間は営利を求めため情報開示が制限されるが、公の役割は営利を目的としてはいけない。情報開示は企業優先ではなく、市民のことを考え全ての情報を出すべきでは。

市民への説明を丁寧にしていく

市 情報提供の時期や範囲等において制約はあるが、適切な審議や議決への配慮を相手方に求めている。市の課題を共有する先に公民連携があり、主導はあくまでも市にある。市民に対しての説明は当然であり、丁寧にしていくべきと考える。(田村市長)

他の質問 幼稚園・保育所の認定こども園化や再編、小中学校の再編が財源ベースになった問題について

中田 哲 議員
さんの未来



市政

度重なる方針転換についての誠実な説明を

議員 市民病院再編・学校再編等の議論を中断後、方針を再度転換し、結局当初の方針に戻るまで大きな期間的損失があったが、方針転換についての説明や反省どころか、停滞していた市政を自分が進めているという発言が見られる。これ以上の分断を防ぐため誠実な説明を求めたい。

判断の理由や経緯を説明していきたい

市 市民本位のまちづくりを実現すべく、あらゆる場で情報発信と対話に努めてきたが、これを理由に現市政のすべてを正当化するつもりはない。これからも、政策判断の理由や経緯について十分に誠意をもって説明していきたい。(田村市長)

他の質問 市内事業者の課題について

長尾 明憲 議員
日本共産党三田市議団



市民病院

市の都合による職員の分限免職は問題

議員 市民病院が兵庫県済生会に運営を移すために病院職員が分限免職される。なぜ、すでに雇用している人に対し試験を行い20名しか採用しないのか。12名が分限免職となるが、市の都合で合理的な理由はなく、全員の転任を受け入れるべきでは。

試験実施や受け入れ人数設定はやむを得ない

市 転任の受け入れ人数は、現在の年齢構成及び将来にわたる人件費を考慮した定員適正化計画に基づき、最大限確保可能な人数にやむを得ず上限を設定したものである。また、選考については地方公務員法の適切な能力の実証に基づく合否の決定で、必要な対応であった。(西尾総務部長)

他の質問 フラワータウン市民センターについて 他

